

電子デバイス（ディスプレイ、半導体、電子部品等）の市場、技術、業界動向を中心に

**NEWS TOPICS** (No. 137) 2026年5月

越石健司

**■ディスプレイデバイス（液晶・有機EL他）・タッチセンサー・部材**

□DNP、車向け加飾フィルムを量産 意匠性と映像表示両立 2026. 5. 4



木目柄を持ちながら、ディスプレイ情報を透過できる

大日本印刷（DNP）は、車載向けのディスプレイに対応した加飾フィルムの量産を始めた。高い意匠性と鮮明な映像表示を両立させたフィルム。自動車部品メーカーに供給する。まず中国市場で売り出し日本や欧州にも展開する。ディスプレイ対応加飾フィルムは、表面に木目などの装飾を持ちつつ、下層に配置したディスプレイの発光時には、色や柄の影響を受けずに鮮明な表示ができる。車載メーターなどに使える。

□東北大など、外光映り込み抑制ディスプレイ開発 車・医療機器向け 2026. 5. 8



低反射ディスプレイ

東北大学の石鍋隆宏教授らはシャープディスプレイテクノロジーと日亜化学工業との共同研究で、低反射ディスプレイを開発した。外光の映り込みが抑えられ、紙に印刷したように見える。目が疲れにくくなる。自動車や医療機器への応用を目指す。ディスプレイ表面の微細構造と光の屈折率を最適化して外光の反射を抑えた。

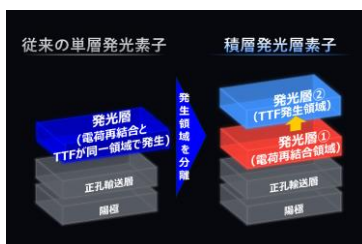
□液晶パネル価格4カ月連続上昇 W杯商戦向けテレビ生産で需要堅調 2026. 5. 23

液晶テレビの主要部材であるパネルの価格が4カ月連続で上昇した。4月の指標品の大口取引価格は前月比1%高い。6月開幕のサッカーワールドカップ（W杯）北中米大会に向けた買い替え需要を見込んでテレビメーカーがパネル調達を急いだ。

□出光興産、蛍光型青色材料を用いた積層型発光層技術が、2026. 5. 19

SIDの「Display Component of the Year Award」を初受賞

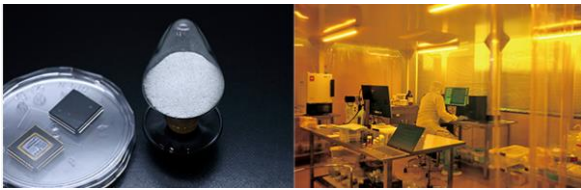
出光興産が開発した蛍光型青色材料を用いた積層型発光層素子の技術が、Society for Information Display（以下「SID」）が主催する「Display Component of the Year Award」を初めて受賞した。従来の単層発光層を採用した有機ELディスプレイと比べて、消費電力を約20%削減。スマホのバッテリー駆動時間の延長や、ディスプレイの省電力化に寄与。



## ■半導体

### □世界初の「単分子誘電体」で千倍以上の記録密度と電力消費9割現 次世代メモリ開発へ 2026. 4. 30

次世代の新たなメモリ素材として期待できる「単分子誘電体」を広島大学の研究チームが発明し、それを事業化するため同大学発スタートアップ「株式会社マテリアルゲート」が立ち上がった。記録密度が現在の千倍以上に向上でき、世界的な課題であるコンピュータの消費電力を9割削減できるという画期的な素材。「素材の力で未来を創る」との企業理念の実現に向けてまい進する。ガラス瓶に一見して食塩のような白い粉末の物質が入っている。それが、将来の半導体産業を革新するとの期待がかかる、世界的な発明の「単分子誘電体」だ。



### □JSR、台湾で半導体材料フォトレジスト生産 TSMCなどに供給 2026. 5. 5

JSRが台湾初となる半導体材料の生産拠点を設ける。主に台湾積体回路製造（TSMC）向けに、回路形成に使うフォトレジストなどを生産する。フォトレジストは日本勢が世界で8割のシェアを持つが、追い上げる中国勢に対抗する。4月上旬に現地企業と合併で、新会社を設立した。数十億円を投じて生産拠点を新設し、2028年にも稼働を目指す

### □韓国YMT、過去最高益達成 ガラス基板・TGVで次成長軸へ 2026. 5. 5

韓国のPCB・半導体パッケージ用化学メーカーであるYMT Co., Ltd.は2025年に過去最高業績を達成。営業利益は前年比259%増と大幅成長し、海外展開とコスト改善が寄与した。今後はTGVやガラス基板向け技術を軸にAI半導体市場への参入を強化する。

### □住友化学、半導体の封止材向けアルミナ素材開発 放射線を低減 2026. 5. 7



高純度アルミナを生産する子会社の東友ファインケムの工場

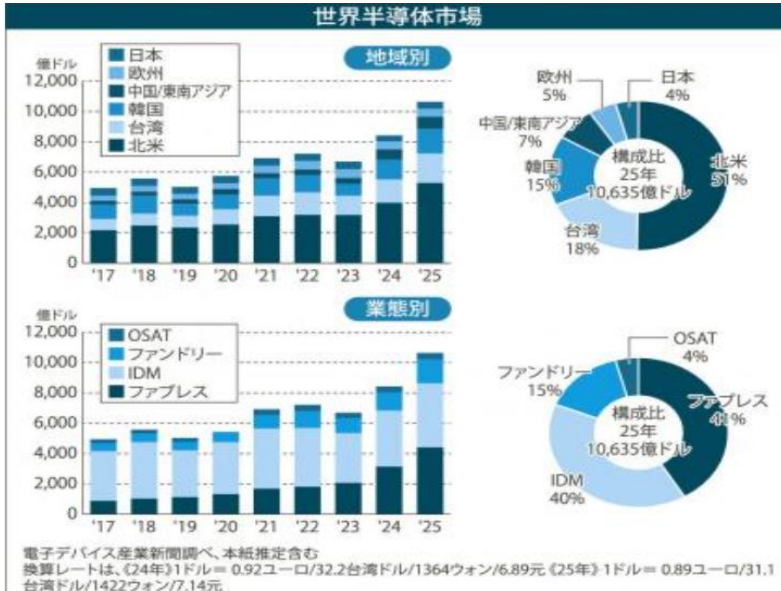
住友化学は7日、先端半導体向けの高純度アルミナ製品を開発したと発表した。半導体を保護する封止材向けの素材で、放射線量を抑えつつ放熱性を向上できる。人工知能（AI）向けなど先端半導体の需要をつかむ。開発した素材は高純度アルミナ製品の「ELAシリーズ」。封止材に混ぜる添加剤としての利用を見込む。

### □スペースX、8.6兆円投資 テキサスのAI半導体工場 2026. 5. 7

米スペースXは米南部テキサス州で人工知能（AI）半導体工場に550億ドル（約8兆6000億円）を投資する。同州の自治体が公表した。かねて表明してきた大規模半導体製造「テラファブ」の計画とみられる。AIに必須な半導体を自ら量産する狙い。

**□世界半導体市場 初の1兆ドル突破 北米比率5割到達 ファブレスがIDM抜く**  
2026. 5. 7

世界の半導体市場（IDM/ファブレス/ファンドリー/OSATの合算）は、2025年に前年比26%増の1兆635億ドルとなり集計以来初めて1兆ドルを突破した。AI市場の爆発的な拡大に伴い、AI半導体を得意とする企業の成長が目立ち、エヌビディアが君臨する北米エリアが市場の5割を占め、ファブレス業態がIDM業態を初めて抜いた年ともなった。



**□AI 半導体、工場転換で増産** 2026. 5. 8

**台湾 ASE など相次ぎ買収 既存設備で期間短縮**

液晶などのパネルや旧型半導体の工場を買収し、人工知能（AI）用の半導体生産などに転換する動きが台湾で広がる。日月光投資控股（ASE）や米マイクロン・テクノロジーなどが公表した。設備が整う既存工場を使い生産能力を高める。組み立てや検査など半導体製造の「後工程」を手掛ける ASE はパネル大手の群創光電（イノラックス）から台湾南部・台南の工場を買収すると4月半ばに発表した。買収額は148億5000万台湾ドル（約740億円）を予定する。

買収した工場をAI半導体向けに転換			パネル工場は半導体の後工程に転用しやすい	
買い手	売り手	内容	パネル工場の特徴	先端後工程のニーズ
ASE (台湾)	イノラックス (台湾)	パネル工場を買収。先端の後工程ラインに	大型クリーンルーム	清浄度が高いクリーンルームが必要に
力成科技 (台湾)	AUO (台湾)		電力や水道インフラ	必要な工場インフラが大規模化
マイクロン (米)	PSMC (台湾)	半導体工場を買収。先端メモリーを生産	微細な配線工程	配線層の形成など工程が複雑に
TSMC (台湾)	イノラックス (台湾)	24年にパネル工場買収。後工程用に転用か	大型基板の加工技術	使用する基板が大型化。設備やノウハウ必要に

**□韓国 SKC 子会社 Absolics、次世代通信向けガラス基板を米半導体企業へ供給**

2026. 5. 8

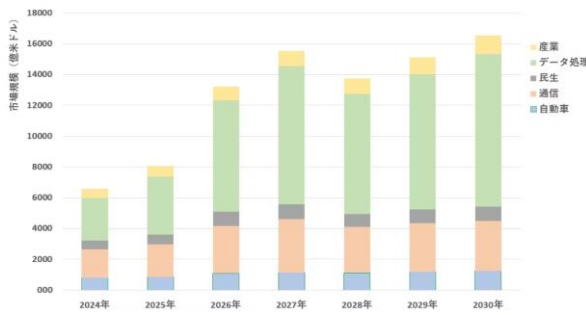
SKC 子会社 Absolics が、米通信チップメーカー向けにノンエンベディング型ガラス基板試作品を供給した。高周波・高密度化が進む次世代ネットワーク半導体向けで現在信頼性試験を実施中。認証が順調に進めば2026年にも量産準備へ移行の可能性が有る。 3

**ロゾナックなど半導体 12 社、ビッグテックの傍らで後工程開発 6 倍速く** 2026. 5. 11

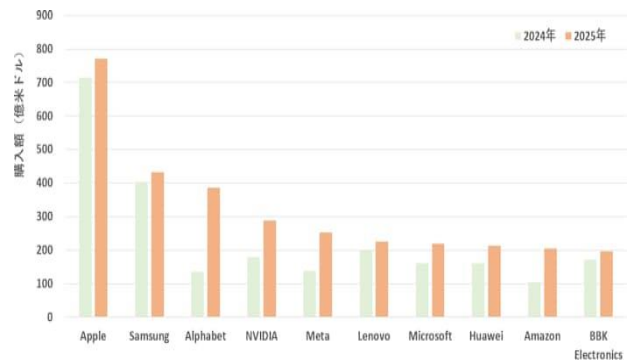
レゾナック・ホールディングスなど日米の半導体関連企業 12 社は、米 Google などのビッグテック企業が本社を置く米シリコンバレーに共同開発拠点を開設した。ビッグテック向けの半導体パッケージ（後工程）技術の開発で連携する。日米の半導体製造装置・部材 12 社が参画するコンソーシアム「US-JOINT」の開発拠点が、2026 年 4 月 20 日に本格稼働した。レゾナックのほか、米 3M、米 Azimuth Industrial、米 KLA、米 Kulicke and Soffa Industries、米 Moses Lake Industries、メック、ナミックス、東京応化工業、TOWA、アルバック、TOPPAN が参加する。稼働させた拠点はクラス 100 と 1000 のクリーンルームのほか、ボンディングやモールド、めっきなどに対応する後工程装置を備える。最先端の半導体パッケージを試作し、概念実証（PoC）できる環境を整えた。

**半導体市場、28 年に反転 メリ-供給過剰で価格下落へ** 2026. 5. 12

AI（人工知能）、特に生成 AI ブームを背景に世界半導体市場は目覚ましい成長を遂げている。その勢いは増すばかりだ。例えば、米 Gartner は 2026 年の世界半導体市場は前年比 63.9%成長し、1 兆 3200 億米ドル（約 210 兆円）に達すると予測している。同社によれば、2027 年も 2 桁成長するものの、2028 年は一転して 11.5%の縮小を見込む。



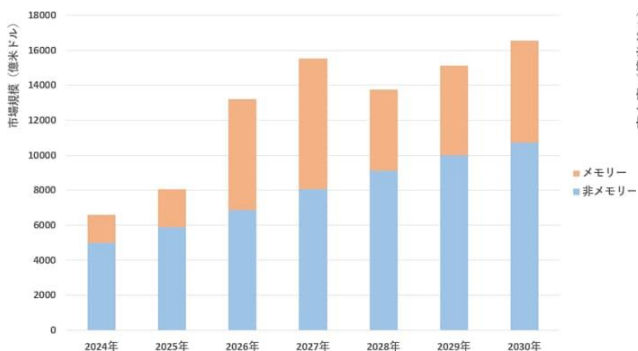
アプリケーション別の半導体市場推移。2024年と2025年は実績。2026年以降は予測。今後、データ処理アプリケーションでの半導体需要が大きく伸びる。このアプリケーションにAIデータセンターが含まれる（出所：ガートナーの2026年4月のデータを基に作成）



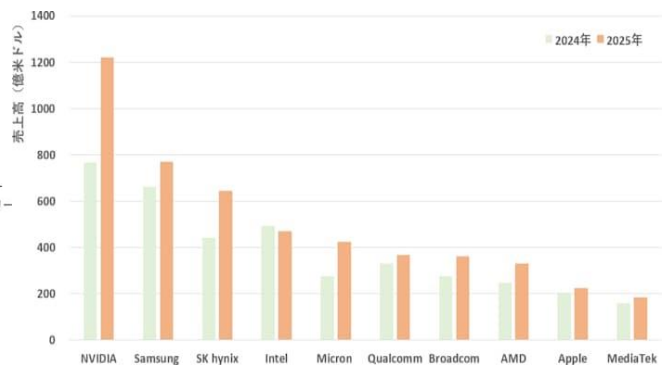
アプリケーション別半導体市場規模

半導体購入額の大きい企業

2027 年にかけて半導体の需要をけん引しているのは、AI データセンターである。AI データセンターが世界半導体市場をけん引していることは別のデータからも分かる。半導体の購入額ランキングである。以前、ランキングの上位は、携帯電話機/スマートフォン大手やパソコン（PC）大手だった。2025 年にはハイパースケーラー（大規模データセンター運用企業）が目につくようになった。例えば、米 Alphabet は前年比 183.6%増で、3 位になった。米 Meta Platforms は同 83.8%増で 5 位へ、米 Amazon.com は同 95.7%増で 9 位となった。



メモリー市場と非メモリー市場の推移



半導体売上高ランキング。2025 年の上位 10 社

**□中国 Edo Technology、半導体ガラス基板工場を着工 先進パッケージ材料の国産化加速** 2026. 5. 14

中国 Edo Technology が半導体ガラス基板工場を着工。年間 210 万枚の 12 インチ基板を生産し、AI 向け先進パッケージ材料の国産化と供給網強化を進める。総投資額は 10 億元（約 1 億 4,737 万ドル）を超える。

**□量子デバイス初製造 ベルギーimec、半導体装置で** 2026. 5. 20 ベルギー

に本拠を置く世界的な半導体の研究開発機関 imec は 19 日、半導体製造に使う先端露光装置を使い、量子デバイスの製造に世界で初めて成功したと発表した。技術確立が難しかった量子コンピューターの新方式に量産化の道筋をつけた。「シリコン量子ビット」方式と呼ばれる電子デバイスだ。

**□JS ファンドリの半導体工場 TDK、数十億円で取得** 2026. 5. 20 TDK は

JS ファンドリの新潟工場の土地と建物を 6 月に取得する。取得金額は数十億円とみられる。半導体の受託生産を手掛ける JS 社は 2025 年 7 月に破産しており、地元では工場跡地の活用方法が課題となっていた。

**□次世代半導体パッケージ向けガラスコア基板加工に適用可能** 2026. 5. 20

**特殊光学系を用いない深穴加工**

株式会社光響は、当社超高精密フェムト秒レーザー加工機「Femto-pro」を用い、ガラスなどの透明体に対する穴あけ加工の技術実証に成功。本成果は、次世代半導体パッケージにおけるガラスコア基板加工への応用可能性を見据えたもの。

**□ファーウェイ、2031 年に 1.4 ナノ並み半導体 微細化以外の技術で** 2026. 5. 26

中国通信機器大手、華為技術（ファーウェイ）は 2031 年までに回路線幅が 1.4 ナノの製品に相当する高性能の半導体を開発する計画を発表した。一般的な回路線幅の微細化とは異なる手法で性能を高めるといふ。「ムーアの法則」は限界に近づいていると指摘される。独自理論「タウ・スケーリングの法則」を利用して高性能品を開発する。「ハーの法則」とも呼ばれている。

**□旭化成、先端半導体向け感光性ポリイミドフィルム 高精度な微細配線対応**

2026. 5. 27

旭化成は先端半導体パッケージ向けの感光性ポリイミドフィルムを開発した。開発品は、再配線層やパッケージ基板の絶縁層用途を想定。既に顧客による評価が進んでおり、早期の発売を目指す。ラミネート工法により大型パネル上へ均一な絶縁樹脂を形成できるため、半導体パッケージ製造の生産性向上につながる。膜厚の均一性に優れ、絶縁層数の増加にも対応しやすいのが特徴。旭化成は、液プロセス向けに再配線層絶縁材として感光性ポリイミド「パイメル」を展開しており、多様化する顧客のプロセスや要求に合わせ選択肢を拡充した。同社は開発品と 1 マイクロメートル幅の回路形成が可能な高性能感光性ドライフィルム「サンフォート T A シリーズ」の組み合わせで、微細回路と絶縁樹脂層の両方をフィルムプロセスで形成可能にする提案を進める。

**□SK hynix、HBM の中に冷却機構を直接埋め込む新技術「iHBM」を発表  
もはや上から冷やすのは時代遅れ？**

2026. 5. 27



SK hynix は HBM パッケージ内部の熱源 (D2D PHY) に冷却経路「ICE」を直接埋め込む新アーキテクチャ「iHBM」を発表した。高負荷が続く AI データセンターにおいて、チップの性能低下を防ぎ、安定した高スループットの持続を可能にする。実績ある「MR-MUF」パッケージングを流用することで、Samsung や Micron の熱管理戦略に対して、導入ハードルの低い構造的アドバンテージを確立する。高帯域幅メモリ (HBM) のパッケージ内部に直接冷却要素 (Integrated Cooling Elements: ICE) を埋め込むという前代未聞のアプローチを採用している。

**□メモリー長期記憶用も不足 4~6月の半導体を9指標で読む AI 特需、スマホに打撃**  
2026. 5. 29

世界の 4~6 月期の半導体市場は人工知能 (AI) の用途拡大で、データセンター向けメモリー半導体の需要増加が続きそうだ。データを長期記憶する品種の不足感が新たに高まっている。一部の電子部品にも波及するなど AI 特需の強さを映す。一方でメモリーの品不足や価格高騰が、スマホなど最終製品の出荷減少やコスト増加の形で顕在化し始めた。



2026. 5. 30

**□中国がガラス基板産業連盟「GCPA」設立**

**AI・HBM 向け次世代パッケージの国産化を加速**

中国はガラス回路基板産業連盟 (GCPA) を設立し、TGV 技術やガラス基板量産化の推進を本格化。AI チップ、HBM、CPO 向け先端パッケージ分野で国産サプライチェーン構築と標準化を加速する。合肥 Peyton・ストレージ・サイエンス・アンド・テクノロジー (Hefei Payton Storage Science and Technology)、AKM Meadville、無錫中微高科電子 (WUXI ZHONGWEI HIGH-TECH ELECTRONICS)、WG Tech (江西) グループ、成都 ECHINT Technology、SCHMID Group、深圳桂華智能科技有限公司 (Shenzhen Guihua Intelligent Technology) などのサプライチェーン企業に加え、Future Semiconductor および JM Insights が共同で設立したもの。

■新技術、材料、電池

□線路が突然消える恐怖を「宇宙の目」が防ぐ！

2026. 4. 27

OKI が衛星データ×センサーで狙うインフラ監視技術に熱視線



トルコの鉄道ではシンクホール（地表陥没）などの被害への対応が課題に（画像：OKI）

鉄道の線路下で突然、地面が陥没する——。そんな事故を未然に防ぐサービスを、通信機器大手のOKI（沖電気工業）が人工衛星の観測データを活用して開発している。線路周辺に設置されたセンサーと組み合わせる世界初の試みだ。OKIと聞いて、宇宙事業を思い浮かべる人は多くはないかもしれない。が、同社のEMS事業の中核子会社であるOKIサーキットテクノロジーは長らく、JAXA（宇宙航空研究開発機構）認定のプリント配線板を開発・製造し、ロケットや衛星向けに納品している。H3ロケットに使われる配線板の9割はOKI製だ。ただ、新たな宇宙事業の”芽”は、EMSではなく、センサーを使って鉄道や道路などの社会インフラのモニタリング（異常検知・監視）を手がけるコンポーネントプロダクツ事業部で生まれた。衛星データ解析を手がけるエル・ティー・エスと昨夏から協業し、トルコ国鉄の鉄道沿線で災害リスク予測の検証を行ってきた。そして2026年3月、この事業がJAXAの宇宙戦略基金補助事業に採択され、28年度の商用化に向けた取り組みを急いでいる。

□TNO ペロブスカイトの新会社設立 30年に量産工場

2026. 4. 30

TNO（オランダ応用科学研究機構）は、ペロブスカイト太陽電池（PSC）の商業化に向けて、スピンオフ企業のPerovion Technologies社を設立した。軽量で柔軟な金属箔を用いて、ロール・ツー・ロールプロセスで作製する。

□パナ、ペロブスカイト電池の発電コスト改善加速 量産確立へ

2026. 5. 1

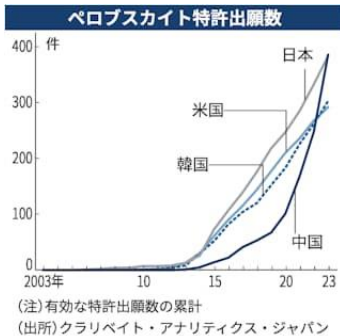
5年151億円投資、従来型と同等に

パナソニックホールディングス（HD）は開発中のガラス型ペロブスカイト太陽電池について、2030年度に従来型シリコン太陽電池と同等の発電コストである1キロワット時当たり14円を実現する量産技術の確立を目指す。研究開発費用として29年度までの5年間で約151億円を投じる。高出力化の要素技術開発では発電時の電気変換効率が低いデッドエリアを含む大型モジュール（1・2×1・8メートル）を用いる。パナHDが手がけるペロブスカイト太陽電池は、ガラスにペロブスカイト膜を直接形成し、その上からもう一枚のガラスで挟み込む「合わせガラス構造」。

複数種類のペロブスカイト太陽電池の開発が進む		
開発企業	種類	特徴
エネコートテクノロジーズ	フィルム型	軽量で曲げられる。従来の太陽電池では設置できなかった曲面や耐荷重性能の低い屋根などに設置できる
積水化学工業		
パナソニックHD	ガラス型	高い耐久性を持つ。ガラス建材として利用でき、ビルの壁や窓などへの設置に適している
カネカ	タンデム型	ペロブスカイト太陽電池と従来のシリコン製の太陽電池などを重ね合わせたもの。一般的な太陽電池より高いエネルギー変換効率を実現できる
シャープ		
長州産業		

**□ペロブスカイト太陽電池の特許出願、中国が日本を逆転 量産でも先行 2026. 5. 5**

次世代太陽電池「ペロブスカイト」の技術開発で中国勢が勢いを増している。世界 2 カ国以上で出された 2025 年末までに有効な特許出願数の累積で、中国が日本を上回り首位となったことがわかった。中国勢は量産も加速する見通しだ。



順位	企業	特許スコア	有効出願数	23年の順位
1	寧徳時代新能源科技 (CATL、中)	9025.280	136	7
2	パナソニックホールディングス (日)	3224.910	64	1
3	隆基緑能科技 (ロンジ・グリーン・エナジー・テクノロジー、中)	2098.542	38	10位外
4	ハンファ・ソリューション (韓)	1994.466	33	10位外

5	東芝 (日)	1893.190	37	3
6	メルク (独)	1861.388	33	2
7	韓国化学研究院	1733.571	42	9
8	フランス原子力・代替エネルギー庁 (CEA)	1623.460	35	10
9	TCL (中)	1580.640	38	10位外
10	キヤノン (日)	1493.620	22	10位外

(注)2025年12月時点。23年は11月時点。  
(出所)クラリベイト・アナリティクス・ジャパン

企業別の競争力にも変化が見える。競合からの参照件数などを基に競争力を点数化した特許スコアでは、25 年は中国の車載電池大手の寧徳時代新能源科技 (CATL) が首位にたった。既に量産も始まっている。中国の極電光能 (ウトモライト) は 25 年 2 月、中国東部で量産ラインを稼働させた。織納光電科技 (マイクロクオンタ) は 22 年に浙江省衢州で年産能力 10 万キロワットの生産ラインを稼働させた。中国勢は量産がしやすいとされるガラス型を先行させてきた。

**□iPS 細胞の特許延長へ 京大が 5 年申請 2026. 5. 7**

研究資金を確保 2 製品に承認、要件満たす京都大学は iPS 細胞に関する基本特許の権利を 5 年延長する申請を出す。山中伸弥教授が 2006 年に開発に成功してから 20 年たち、初期に出願した基本特許は 12 月に効力を失う。京大の特許料収入は東京大学を上回る。高水準を維持し、研究資金の安定確保につなげる。

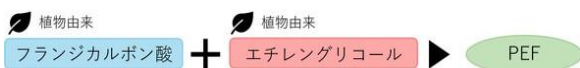
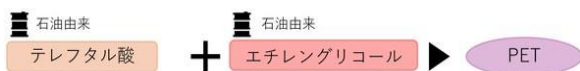
大学	特許料収入
京大	13.8億円 (うちiPS研は10.5億円)
東京大	7.6億円
大阪大	4.4億円

ジョンズ・ホプキンス大	92億円
マサチューセッツ工科大※	95億円
ハーバード大※	84億円

(注)各大学の資料などをもとに作成。国内大は2024年度、海外大は25年度。※は株式収入などを含む

**□100%植物原料由来の PEF フィルムを開発、高い剛性とガスバリア性を達成 2026. 5. 8**

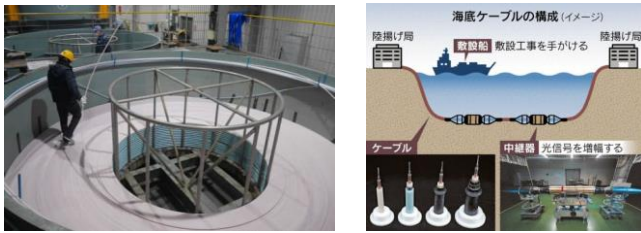
東洋紡は、100%植物原料由来のポリエチレンフラノエート樹脂を使用した二軸延伸フィルムを開発した。環境性能に加え、工業用途に適した剛性、ガスバリア性を兼ね備える。植物由来のフランジカルボン酸とエチレングリコールを原料とする。これを用いた PEF フィルムは、100%バイオマス由来でありながら、熱可塑性樹脂による二軸延伸フィルムとしては業界最高レベルという剛性を備える。PET フィルムと比較して、酸素で約 10 倍、水蒸気で約 2 倍のガスバリア性を達成。



一般的な PET フィルムと PEF フィルムの原料の違い 出所：東洋紡

**□海底ケーブル 大容量に磨き NEC、シェア4割に倍増へ 地政学リスクで需要増**

2026. 5. 13



タンクにケーブルを収納する作業の様子（OCCの海底ケーブル工場、北九州市）

NEC が国際通信の要となる海底ケーブル事業の存在感を高める。5年で1000億円超を投じ、かねて強みとする通信大容量化を一段と進めるほか、初めてケーブル敷設船を自社保有する。オール国産で現在2割超にとどまる世界シェアを4割近くに上げる目標を掲げる。足元ではホルムズ海峡の事実上の封鎖をはじめ、世界で地政学リスクが高まる。ほぼすべての国際通信を担う海底ケーブルの市場を押さえ、防衛や安全保障に関わる日本企業としての地位を固める。海底ケーブルの世界シェアは仏アルカテル・サブマリン・ネットワークス、米サブコム、NECの大手3社で9割を握るもののNECは3番手の地位に甘んじてきた。近年は過去に中国・華為技術（ファーウェイ）傘下にあった華海通信技術（HMNテクノロジーズ）も追い上げる。

**□日本電気硝子超薄板ガラス振動板がハイエンドスピーカーに採用**

2026. 5. 14

日本電気硝子は、同社の超薄板ガラス「Sonarion」を用いたスピーカー振動板が、フルレンジスピーカーユニットブランド「Feastrex（フィーストレックス）」に採用されたと発表した。台湾のGAIT（Glass Acoustic Innovations）と共同で開発、専用のガラスに立体成形と特殊な化学強化処理を施し、音響素材に必要な特性を備えている。

**□次世代太陽電池「ペロブスカイト」、自衛隊基地で実証導入**

2026. 5. 20

**今夏から、需要創出へ政府先導**

政府は自衛隊の基地や駐屯地で、薄くて曲がる次世代型の「ペロブスカイト太陽電池」を導入する実証実験に着手する。2026年夏からまず沖縄県で始め、全国での導入を目指す。自衛隊をはじめとする政府施設での需要を確保して、開発や普及のスピードアップにつなげる。経済産業省によると、国の施設でペロブスカイトの実証をするのは今回が初めて。沖縄県うるま市にある海上自衛隊沖縄基地隊にある海上自衛隊沖縄基地隊にある隊舎の屋根に設置し、9カ月かけて発電性能や耐久性などを確かめる。...

**□エネコートテクノロジー、宇宙に「曲がる太陽電池」35年にも実用化**

2026. 5. 25

京都大学発の太陽電池スタートアップ、エネコートテクノロジーズ（京都府久御山町）は、宇宙空間でも使用可能な薄くて曲がる「ペロブスカイト太陽電池」を2035年にも実用化する。月面基地や人工衛星に搭載することを想定する。エネコートのペロブスカイト太陽電池がこのほど宇宙航空研究開発機構（JAXA）の宇宙戦略基金事業に採択された。実証2年目をめどにJAXAが進捗などを評価する。

□反強磁性体、光で書き換え 理研が次世代メモリー技術

2026. 5. 25

ドメインA ドメインB



試料表面からの透過像 光で「IOME」と書き込んだ（理研提供）

理化学研究所の豊田新悟研究員と小川直毅グループディレクター、十倉好紀グループディレクターらは、光で反強磁性体の情報を書き換えることに成功した。光を照射する方向によってスピンの向きが反転する。読み出しも可能。全光学的磁気メモリーの可能性が開ける。反強磁性体のリン酸ニッケルリチウムに赤外光レーザーを当てるとスピンの向きが反転することを実証した

■カーエレクトロニクス

□テスラの高級EV工場、ヒト型ロボ拠点へ転身 米で2車種生産終了 2026. 5. 11

米電気自動車（EV）大手テスラは9日、米カリフォルニア州の工場で高級EV2車種の生産を終了したと発表した。7月下旬にもヒト型ロボットの生産を始める。人工知能（AI）関連事業を増やす戦略の一環となる。生産を終えたのは、セダン「モデルS」と多目的スポーツ車（SUV）「モデルX」。カリフォルニア州フリーモントの工場で生産していた。テスラは1月末に生産終了の方針を発表した。

□トヨタ、EV開発一部中止 次世代セダン型、需要減で車種絞る 2026. 5. 29

トヨタ自動車は次世代電気自動車（EV）の開発を中止することがわかった。当初は生産開始を2026年末からとしていたが、27年半ばまで延期するとしていた。EVの世界的不振などを踏まえて、多目的スポーツ車（SUV）型などの開発に資源を集中する。開発を中止するのは高級車ブランド「レクサス」のセダン型EV「LF-ZC」の量産モデル

■通信

□東ソー、次世代光ケーブル量産へ 2026. 5. 7

慶大が開発、通信速度2倍に AI特需に対応東ソーは2029年にもデータセンター向け光ケーブルを量産する。慶応義塾大学が開発したもので、通信速度は従来より2倍速い。高性能の光ケーブルの需要は高いとみている。

光ファイバー研究で著名な慶大の小池康博特任教授の成果を活用する。光ケーブルは主流のガラスではなくフッ素樹脂でできている。

□NVIDIA、NTTのお株奪う「光技術」傾倒 コーニングなど提携拡大 2026. 5. 8

米エヌビディアが光で信号を送る高速データ処理技術に力を入れている。人工知能（AI）が進化する中、通信や計算の心臓部の技術を大幅に見直す必要が出ているためだ。エヌビディアは、光ファイバーなどを手がけるコーニングとの連携を発表した。コーニングは米国内に3工場を新たに建設し、光接続部品の同国内の生産能力を10倍に高める。

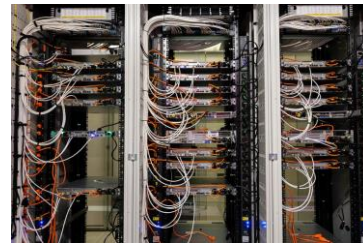
**■環境/エネルギー/レアアース/SDGs**

**□銅が歴史的な高値 国内製錬はリサイクルへ**

2026. 5. 8

**AI時代の銅需要は今後15年で5割増え供給不足が1000万トンの恐れ**

10円玉に含まれる銅の価値が、10円以上になる日が近いかもしれない。1枚4.5グラムの10円玉には約4.275グラムの銅が含まれる。国内取引の基準となる銅建値は4月23日現在、1トン当たり223万円。単純計算すると、10円玉に含まれている銅だけで9.5円にもなる。銅価格は歴史的な高値が続いている。10年前と比べると2倍以上の水準だ。



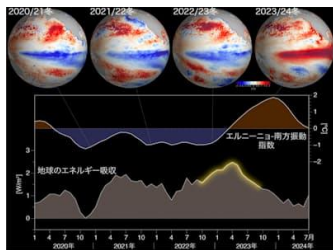
データセンター向け銅需要も伸長

**□地球の太陽熱吸収増える 23~24年の気温上昇**

2026. 5. 19

**東大など、気候モデル分析**

東京大学などの研究グループは2023~24年に世界の平均気温が高まった背景に、地球が太陽エネルギーを吸収しやすくなったことがある可能性を示した。

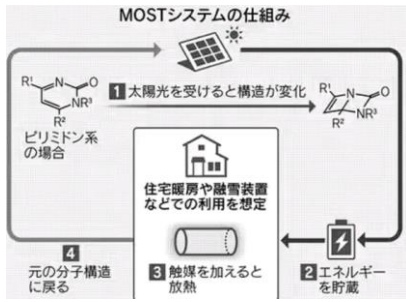


2020~22年まで続いたラニーニャ現象が終了直後から地球のエネルギー吸収が強まった=東京大学小坂優准教授提供

近年、地球の平均気温は急上昇している。24年は世界全体の気温が産業革命以前に比べて1.55度上昇し、観測史上最も暑い年になった。背景には人類の経済活動による温暖化ガスの排出増があるが、それだけでは説明できないほど急上昇している。地球による太陽エネルギーの吸収増の発生理由などについての研究が進められていた。東大先端科学技術研究センターの土田耕特任研究員や小坂優准教授、北海道大学の見延庄士郎教授の研究グループは、地球が吸収する太陽エネルギーが急増する直前に、数年にわたってラニーニャ現象が発生していることをコンピューターのシミュレーションで突き止めた。ラニーニャは東太平洋の海面水温が低くなり、西太平洋で高くなる現象だ。地球全体では、気温を押し下げる傾向がある。反対に、東太平洋の水温が高まり、西太平洋が低くなるのがエルニーニョ現象だ。

**□太陽熱を貯蔵し再利用 米大など新たな分子技術 蓄電池を上回る効率** 2026. 5. 19

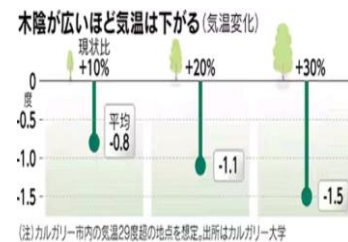
米カリフォルニア大学などの研究グループは、太陽光の熱を化学エネルギーとして蓄え、再利用する新たな分子技術を開発した。従来の蓄電池を上回る効率という。一般的な太陽光発電は、太陽光を電気に変換する技術だ。一方、光を当てると構造や性質が変わる分子を使って、太陽光のエネルギーを分子内にため込むのが「分子太陽熱エネルギー貯蔵 (MOST) と呼ばれる技術だ。



各国が独自にMOST研究を進める	
国名	特徴
スウェーデン	性能向上の基礎研究から応用まで取り組みMOST研究を先導
スペイン	太陽光発電と組み合わせて発電と蓄熱を実現する装置を開発
中国	「アゾベンゼン」という化合物を活用した研究開発に強み
米国	「ピリミドン」などの新しい化合物に注目した研究開発が進む
日本	アゾベンゼンなどを使った成果を発表も、近年は研究規模が縮小

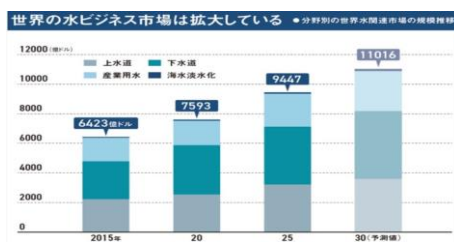
**□消える木陰、世界と逆行 日本の街路樹 50 万本減、庭木も相続で伐採 2026. 5. 24**

街中の木陰が縮小している。東京 23 区では 9 年間で東京ドーム 256 個分が消えた。国内の街路樹はピークから 50 万本減り、枝葉が広がらない品種に植え替えが進む。気候変動で夏の暑さが厳しくなるなか、海外の大都市は気温上昇を抑える木陰の拡大に取り組む。日本も街づくりを見直す転機を迎えている。



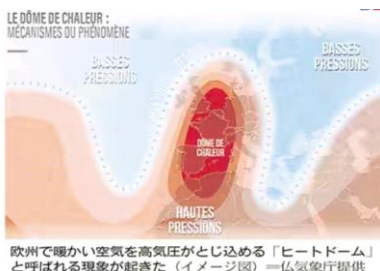
**□水ビジネス市場は1兆ドル超に、世界最大手は仏ヴェリアグループ 2026. 5. 25**

国内は人口減で水需要が縮小するが、世界の水ビジネス市場は拡大を続ける。海外プレーヤーの後塵を拝する日本勢は独自技術で巻き返しを狙う。上水道、下水道、産業用水いずれの分野も拡大を続け、2030年には全体の市場規模は1兆1000億ドル(約170兆円)に達する見通しだ。背景には発展途上国での水道の普及のほか、気候変動をきっかけとした渇水対策などがある。近年は半導体工場やデータセンター向けの供給も拡大している。欧米が市場の5割超を占める。今後はアジア地域や中南米といった市場も拡大が見込まれる。



**□欧州はや熱波到来、ロンドンで104年ぶり記録更新 ヒートドーム猛威 2026. 5. 26**

欧州は今年初の熱波の影響で、5月としては異例の暑さに見舞われている。英ロンドンでは25日、気温が34度を超え、5月の最高気温の記録を104年ぶりに更新した。気候変動に伴い熱波が起きる頻度は年々高まっている。



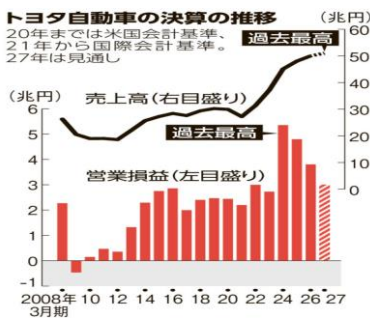
■企業動向、製品動向

□ソニーGとTSMC、次世代画像センサーを開発・生産 合併会社設立へ 2026. 5. 8

ソニーグループは8日、半導体受託製造最大手の台湾積体回路製造（TSMC）と画像センサーの開発・生産で提携すると発表した。ソニーGの半導体子会社とTSMCの合併会社の設立を検討し、コストを抑えながら次世代センサーの競争力を高める。熊本県合志市にあるソニーセミコンの画像センサーの工場内に開発設備や生産ラインの設置を検討する。協業で「フィジカルAI」分野での応用をにらむ。

□トヨタ売上高、初の50兆円超 純利益は22%減の3年連続減益予想 2026. 5. 8

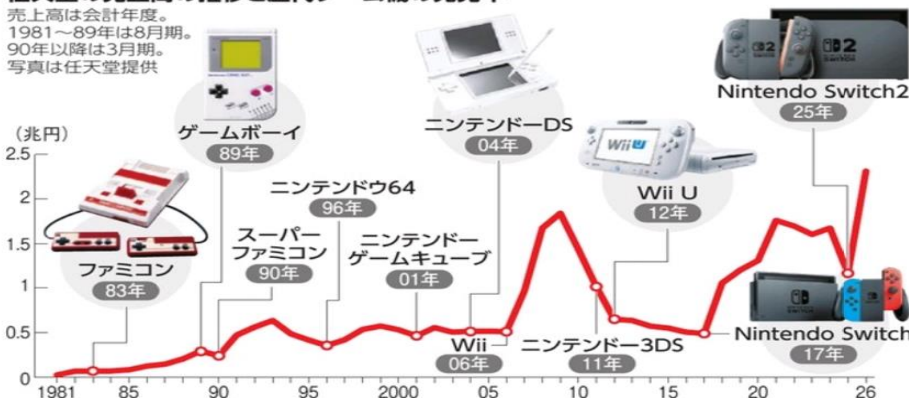
トヨタ自動車は8日、2027年3月期（国際会計基準）の最終的なもうけを示す純利益が前年比22.0%減の3兆円になりそうだと発表した。減益となれば3年連続。中東情勢の悪化による資材価格の高騰などが響くと見込んだ。また、同日発表した26年3月期決算は、売上高が5.5%増の50兆6849億円となり、5年連続で過去最高となった。売上高が50兆円を超えるのは、日本企業として初めて。一方、純利益は19.2%減の3兆8480億円だった。



□任天堂 スイッチ2、1万円値上げへ 半導体メモリの高騰、影響 売上高、初の2兆円超 2026. 5. 9

任天堂は8日、2025年6月に発売した家庭用ゲーム機「Nintendo Switch 2（ニンテンドースイッチ2）」の本体価格を値上げする、と発表した。日本語・国内専用モデルで、メーカー希望小売価格を1万円引き上げて、税込み5万9980円とする。ゲーム機の本体に使用する主要部品の半導体メモリー価格などが高騰しているため。26年3月期決算は、売上高が前年比98.6%増の2兆3130億円となり、初めて2兆円の大台を超えた。スイッチ2の販売台数が当初目標の1500万台を大きく上回る1986万台になったのが牽引役となった。

任天堂の売上高の推移と歴代ゲーム機の発売年



□日本株、半導体・銀行が主役

2026. 5. 12

時価総額「10兆円クラブ」27社に 自動車・通信は失速

日本の株式市場で主役の交代が進んでいる。時価総額上位の常連だった自動車や通信が失速し、代わって人工知能（AI）向け需要の急成長に沸く半導体関連や銀行、商社が躍進した。主力株の浮き沈みは産業構造やインフレ転換への市場の評価を映す。

日本株上位の顔ぶれは10年で様変わり  
2016年5月末日 26年5月11日

順位	銘柄名	時価総額	順位	銘柄名	時価総額
1	トヨタ	19.5兆円	1	トヨタ	45.3兆円
2	NTTドコモ	11.0	2	三菱UFJ	33.9
3	NTT	10.1	3	SBG	32.8
4	JT	8.8	4	キオクシア	25.0
5	KDDI	8.4	5	東エレクト	24.3
6	三菱UFJ	7.8	6	ファストリ	23.8
7	SBG	7.4	7	日立	22.1
8	日本郵政	6.4	8	三井住友FG	21.6
9	ゆうちょ銀	5.9	9	アドテスト	21.0
10	ホンダ	5.7	10	ソニーG	20.7
11	三井住友FG	5.1	12	三菱商	19.4
12	日産自	5.0	15	伊藤忠	15.7
26	三菱商	3.1	20	NTT	13.4
88	東エレクト	1.3	48	ホンダ	5.6
101	東芝	1.1	168	日産自	1.3

(注) 矢印は順位の変動が目立つ企業



□地域別に重点産業指定

2026. 5. 14

政府、全国10ブロックで計画 近畿は空飛ぶクルマ

政府は地域ごとに成長分野の企業を集積するための計画を策定する。近畿を次世代移動手段である「空飛ぶクルマ」の実用化拠点に指定するなど全国を10ブロックに分ける。関連する企業や研究機関、自治体などを集めて投資を促し、地域経済の活性化を目指す。

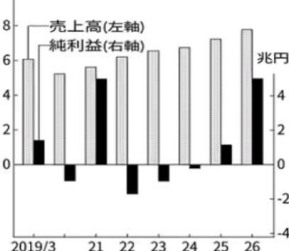
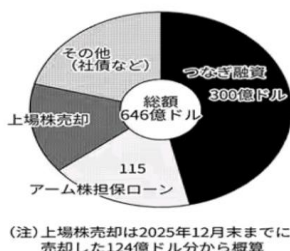


□「半導体やロボ」AI 前面 ソフトバンクG、前期最高益5兆円 投資企業から転換急ぐ

2026. 5. 14

ソフトバンクグループ（SBG）が人工知能（AI）を軸に収益の多様化を急ぐ。半導体やロボットなどAIの技術や用途に絡む事業を広げる。約10兆円を投じる米オープンAIの競争力が陰るなか、AIで稼ぐ会社へ転換を進める。13日に発表した2026年3月期の連結決算（国際会計基準）は、純利益が前の期比4.3倍の5兆円と過去最高を更新した。金額ベースでは国内企業で最高となる。

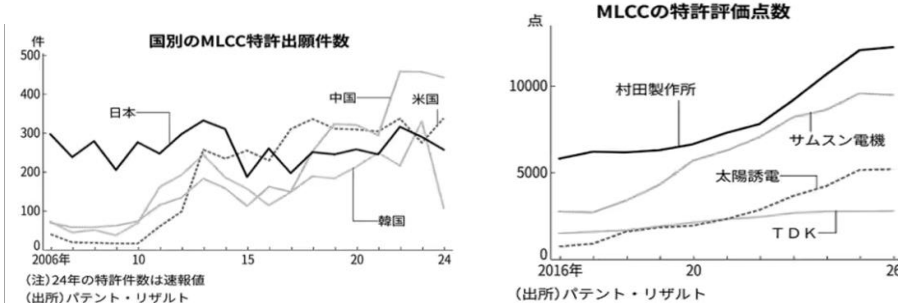
オープンAIへの投資資金の調達方法 兆円 SBGの連結業績



**□村田製作所、知財戦略で勝つ**

2026. 5. 14

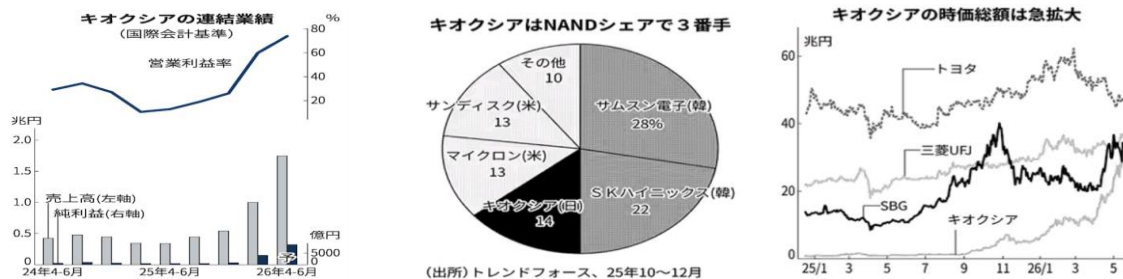
**AI 向けコンデンサー、世界首位堅守 社内報酬、10年で2.5倍に村田製作所が知的財産戦略を武器に、中国や韓国の競合に対抗する。自社の特許取得者への報奨金は2025年度に15年度比で2.5倍になった。世界シェア4割を握る積層セラミックコンデンサー（MLCC）の技術競争で優位に立ち、最大手の地位を固める。**



**□キオクシア純利益48倍 4~6月予想、日本企業で最大級のAI恩恵**

2026. 5. 16

キオクシアホールディングスは15日、2026年4~6月期の連結純利益（国際会計基準）が前年同期の48倍の8690億円になる見通しだと発表した。世界の生成AI投資の恩恵を日本で最大級受ける企業となっている。株式時価総額は上場から1年半で約30倍となり、日本株相場をけん引している。純利益の見通しは事前の市場予想平均（QUICK・コンセンサス、4056億円）を上回った。日本企業が4~6月期に稼ぐ利益水準としてはトヨタ自動車に次ぐ。キオクシアは27年3月期の通期予想を開示していないが、事前の市場予想平均によると、純利益は2兆8389億円と前期実績の5.1倍に拡大する。



キオクシアの業績を押し上げるのは、同社が手掛けるNAND型フラッシュメモリーだ。AIサーバーなどでデータを長期記憶する。米テック大手によるAI向けデータセンターへの投資競争が熱を帯びており、販売の好調が続く。

**□キオクシアの時価総額、初の30兆円 メモリー需要取り込み急拡大**

2026. 5. 21

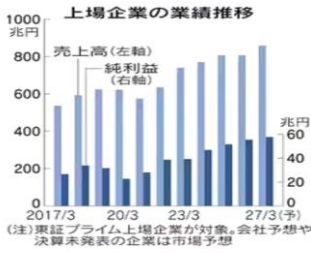
21日の東京株式市場でキオクシアホールディングスの時価総額が初めて30兆円の台に乗せた。時価総額ではソフトバンクグループ（SBG）に次ぐ4位になる。人工知能（AI）投資を追い風に、メモリー需要の増加を見込んだ資金が流入した。投資家の買いは勢いづいており、株価の上げ幅は一時前日比10%を超えた。終値は8%高の5万5340円だった。

**□上場企業、6年連続最高益 AI需要が原油高吸収**

2026. 5. 17

**今期4%増 半導体や銀行けん引原油高の逆風が強まる中でも上場企業の稼ぐ力は拡大している。2027年3月期の純利益**

は57.6兆円と前期比4%増え、6年連続で最高を更新する。人工知能（AI）需要を取り込む半導体や部材、金利高の追い風を受ける銀行が利益を伸ばす。

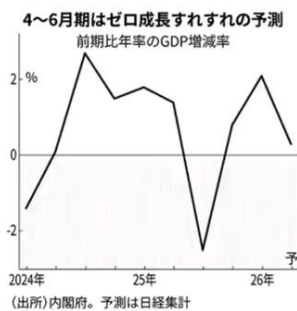
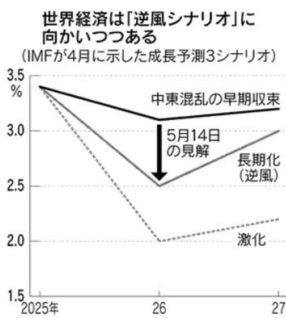


**国内景気、一転減速へ 4~6月「ゼロ成長」予測**

2026. 5. 20

**イラン危機が影 原油高と供給制約響く**

長引くイラン危機が世界経済にブレーキをかけつつある。エネルギーの中東依存度が高い日本は4~6月期にほぼゼロ成長になると市場は予測する。米欧も原油高が影を落とし、減速は避けられないとの見方が多い。



1~3月の実質GDPは前期比年率2.1%増		
内需	個人消費	前期比年率1.1%増
	設備投資	1.1%増
	住宅投資	2.1%増
	政府支出	0.4%増
外需	公共投資	5.7%増
	輸出	7.1%増
GDPデフレーター		前年同期比3.4%上昇
名目雇用者報酬		3.4%増

(出所)内閣府

**メタ、日本でAI眼鏡 「スマホの次」中国勢に対抗 8万円前後 撮影や同時翻訳機能**

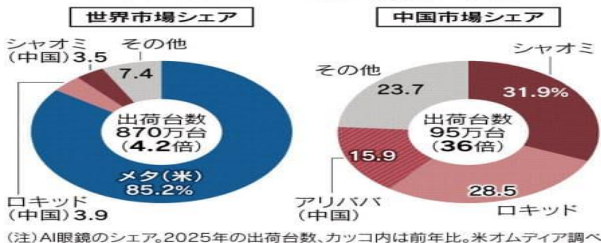
2026. 5. 20



メタの眼鏡型端末「レイバン・メタ (Gen 2)」(19日)

米メタは19日、人工知能(AI)を搭載した眼鏡型端末を21日から日本で発売すると発表した。手がふさがっている状況でも、声で指示を出してカメラ撮影したり、日本語に翻訳したりできる。スマホの次の端末として、日本を世界展開への足がかりにする。発売するのはフランスの眼鏡大手エシロール・ルックスオティカと共同で開発した「レイバン・メタ・ブレイザーオプティクス」など7種類。フレームに組み込んだAIに声で指示をすると撮影や音楽再生、翻訳、調べ物などができる。

シャオミやアリババなど中国勢が猛追



**グーグルAI「常時代行」検索やメール、ECまで 新機能「スパーク」 個人向け展開**

2026. 5. 20

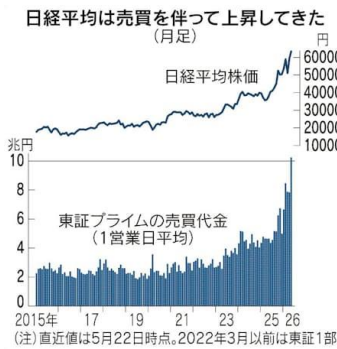
米グーグルは19日、検索やメール、予約といったネットの活動を人工知能(AI)が常時代替できる機能を始めると発表した。利用者30億人超のサービスを複数持つ基盤を生かし、法人向けで導入が進む「AI エージェント」を個人にも展開する。

**□Google、音声操作のAI眼鏡 26年秋投入でメタに対抗 2026. 5. 20**

米グーグルは19日、韓国サムスン電子と2026年秋に人工知能(AI)を搭載した眼鏡型端末を発売すると発表した。声で操作し、AIに道を尋ねたり写真を撮影したりできる。先行する米メタに対抗する。米カリフォルニア州の本社で開いた開発者向け年次技術イベント「グーグルI/O(アイオー)」で発表した。

**□日本株、異次元の大商い 5月の売買代金は1日平均10兆円超 2026. 5. 23**  
**日経平均は最高値更新**

日本株の取引が活況だ。東証プライム市場の1日の平均売買代金は10兆円を超え1年前の2倍になった。株高が海外マネーを呼び込み、個人投資家の短期売買も盛り上がる。最高値圏での異次元の大商いは売りをこなしながら上昇する相場の力強さを示す。



売買代金上位をAI・半導体関連が席巻  
 (2026年5月1~21日の1営業日平均)

順位	銘柄名	売買代金	増減率
1	キオクシア	1兆5474億円	135.2倍
2	フジクラ	4574	2.8倍
3	SBG	4092	8.5倍
4	古河電	3228	12.2倍
5	アドテスト	2455	2.1倍
6	JX金属	1670	34倍
7	レーザーテック	1591	2.2倍
8	東エレクト	1556	74%
9	イビデン	1531	10.8倍
10	三井金属	1312	51.8倍
11	三菱UFJ	1281	27%
12	ディスコ	1241	▲28%
13	三菱重	1208	▲43%
14	ソニーG	1205	89%
15	任天堂	1089	52%
16	トヨタ	1018	38%
17	住友電	998	9.1倍
18	ファストリ	915	2.1倍
19	三井住友FG	874	61%
20	村田製	850	3.2倍

(注)増減率は25年5月平均と比較。▲は減少

大商いを引っ張るのは海外投資家だ。東証の投資部門別売買動向によると4月のプライム市場の取引額は買いが129兆円、売りが124兆円で、計254兆円の取引を手掛けた。25年4月(売買合計129兆円)からほぼ2倍になった。

**□エアコン「27年問題」で特需 省エネ基準品、1~2割高に 量販店では販売6割増 2026. 5. 31**



家電量販店のエアコン売り場(東京都豊島区のビックカメラ池袋本店)

エアコンの省エネ基準が厳しくなる「2027年問題」によって駆け込み需要が発生している。新基準品が1~2割高価なことから現行基準品を買う人が多いためだ。土日の設置工事は1カ月以上待ちの状態、工事不要の小型クーラーに消費者が流れている。

**□日本板硝子「自動化へ投資」米ファンド傘下入りで社長 再上場にも意欲 2026. 5. 31**

日本板硝子の細沼宗浩社長が日本経済新聞の取材に答えた。米投資ファンド、アポロ・グローバル・マネジメント傘下で遅れていた製造設備の自動化投資などを進め、収益改善を目指す考えを示した。株式を非公開化して再建を進める方針だが、個人的な目標とした上で「いつかは再上場したい」との展望も語った。6月26日に開く定時株主総会で株式非公開化に関する特別決議を予定する。3分の2以上の賛成を得られれば年内にも上場廃止となり、アポロ傘下で再建を目指すことになる。成長期待をかける分野が技術開発を進めているペロブスカイト太陽電池や次世代半導体技術だ。絶縁性や耐熱性が求められる次世代半導体材料としてガラスが有望視されている。

■ AI、生成AI

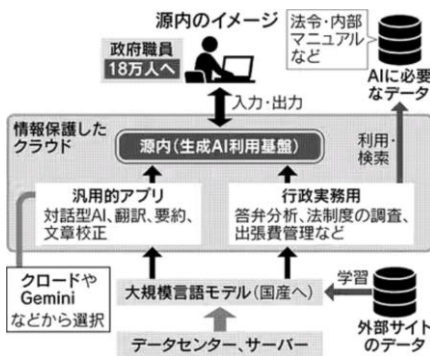
□ 新型 AI 「ミュトス」 のサイバー攻撃対策は喫緊の課題、システムの「穴」を見抜く能力、格段に優れる

2026. 5. 7

アメリカの新興企業アンソロピック社が開発した生成 AI 「ミュトス (Claude Mythos)」 は、システムやソフトウェアの「穴」を見抜く能力が格段に優れ、これまで開発されたもっとも強力な AI だといわれる。ミュトスのような高性能 AI が悪用されてサイバー攻撃に使われたら、脆弱性の発見や攻撃手順の組み立て、そして侵入後の展開が高速化し防御の難度がこれまでより大幅に上がる恐れがある。「ミュトス」対策は喫緊の課題だ。

□ 霞が関 18 万人、AI で答弁作成や統計分析 政策づくりに集中なるか 2026. 5. 14

政府は行政向け AI (人工知能) の基盤を各府省の国家公務員 18 万人に順次開放する。各部署で答弁作成や統計分析など業務に使える AI アプリを簡単に開発できるようにする。定型的な事務作業を効率化できれば創造的な政策づくりに集中できる。

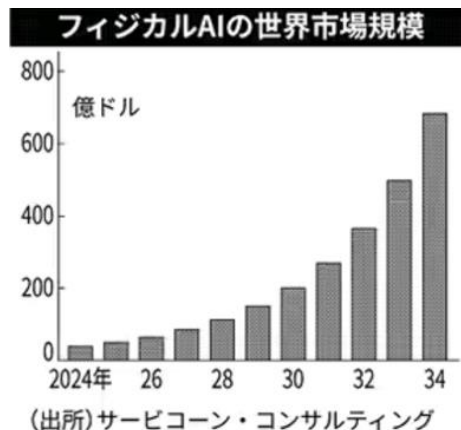


□ 民事裁判、21 日から「全面 IT 化」 提訴や手数料納付もオンラインで 2026. 5. 20

民事裁判手続きを IT 化する改正民事訴訟法が 21 日、全面施行される。訴状の提出から判決の送達まですべての手続きがオンライン化され、訴訟費用は電子納付に統一される。紙の書面のやりとりが前提だった裁判実務は大きく変わる。

□ 国産 AI 開発へ製造業連合 旭化成など 30 社、ソフトバンク系に出資検討 2026. 5. 28

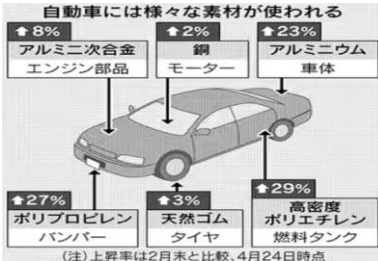
ソフトバンクが設けた国産 AI (人工知能) 開発の新会社に対し、旭化成など 30 社程度が出資を検討していることが分かった。すでに資本参加している自動車や電機の大手に加え、化学やロボットも含む製造業の主要企業が集結する。



## ■中東情勢の影響

### □自動車素材、軒並み高騰 アルミ 2 割、樹脂 3 割 完成車に値上げ圧力 2026. 5. 6

自動車に使う素材の価格が高騰している。中東情勢の緊迫で車体に使うアルミニウムや車載部品に使う樹脂製品の値上げが相次ぐ。素材・部品各社の中で価格転嫁が進めば、自動車本体の価格にも上昇圧力がかかる。



### □インクショック、ポテチにも波及 中東危機、包装用の供給停滞 2026. 5. 13

中東危機をきっかけに、ポテトチップスの袋がカラーから白黒になり、パスタを束ねている帯から「ゆで時間」の表記が消える。ナフサ由来のインクの供給が滞り、価格が上昇。食品包装の見直しが進みつつある。



①白黒のパッケージのポテトチップス（前列）。中身のイメージ写真はなく、左上に「石油原料節約パッケージ」と記されている＝カルビー提供  
②結束テープ。日清製粉ウェルナの pasta、乾麺に使われてきた＝いずれも日清製粉グループ本社提供

### □ナフサ流通、複雑すぎる 供給不安強まり インフレ懸念 2026. 5. 19

ホルムズ海峡の封鎖によって、日本は中東から原油の調達が厳しくなっている。原油からはプラスチックなどの原料となるナフサがつくられる。ナフサは暮らしを支える石油製品だが、中東地域依存度が高い。供給不安は強まりインフレへとつながる恐れがある

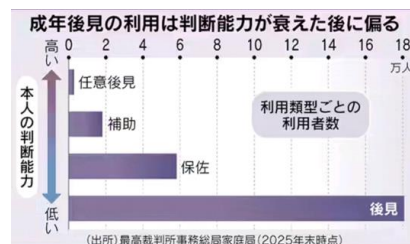


## ■その他

### □膨らむ認知症高齢者の資産 500兆円に凍結リスク、「後見」活用広がらず

2026. 5. 4

認知症高齢者の保有資産が増えている。軽度の認知障害を含めると保有資産は2030年に500兆円を上回るとの試算がある中、成年後見や信託といった備えは広がりやを欠く。症状が重くなると口座など凍結となり治療に使うお金引き出せないといったリスクが高まる。



日本は任意後見の利用の遅れが目立つ

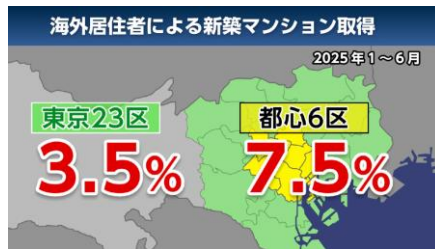
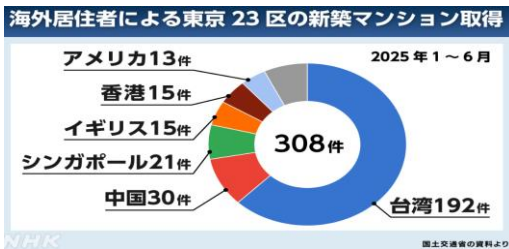
	日本	ドイツ	英国
法定後見	25万人	127万人	6万人
任意後見	12万	648万	934万
人口	1億2000万	8400万	6800万

(注) 取材に基づいて作成。任意後見は登録の件数。日本の任意後見は19年、それ以外は25年。ドイツの法定後見は15年、それ以外は24年。英国は25年3月末時点

**□高騰する不動産に台湾マネー？その実態と背景を追う**

2026. 5. 7

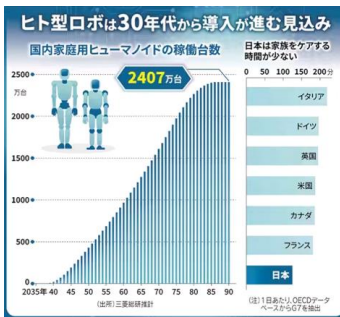
国は去年、海外からのマンション取得状況を調査し結果を初めて公表した。去年上半期に東京 23 区のマンションを購入した「海外の居住者」の内訳を見てみるとその 6 割以上を占めたのは台湾だった。半導体産業などが好調で、経済成長が著しい台湾。台湾メディアは「1 人あたりの名目 GDP（域内総生産）が 2024 年に日本を上回った」と報じている。2025 年の GDP の伸び率は前年比+8%台と高水準を維持し、富裕層が次々と生まれているのだ。“地政学リスク” 台湾独自の事情も、いわゆる台湾有事のことだという。かつて「不動産の爆買い」が話題となった中国の購入者の割合は 1 割未満にとどまっていた。中国では、長引く不動産不況や、中国本土からの海外送金などの資本規制の強化が行われ、かつてのような「爆買い」ができなくなったという話も取材で聞く。



**□ヒト型家事ロボ、頼れる「家族」に 1台 500万円、50年代に世帯普及率1割**

2026. 5. 18

ヒト型ロボットがマラソンやボクシングをこなす時代になった。性能は急速に向上し、家庭など活躍の場も広がる。2050年代には世帯普及率が1割に達する見込みだ。生活空間になじみやすい形と人工知能（AI）で家事をこなす頼れる「家族」になれるか。

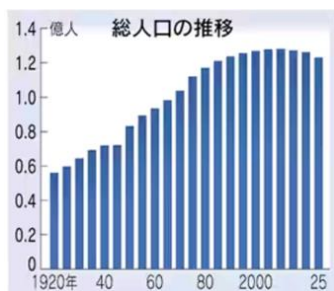


- 価格を抑えたモデルも登場
- 米テスラ 24年に量産開始、25万ドル (約312万円) で販売も予定
- 中国ユニブリー ダンスができるロボットは 1万3500ドル
- 東京ロボティクス 研究開発向けのロボットは 1800万円 (14年産)
- フィジカルAI AIが物理的な仕事もこなす
- 生成AI チャットGPTに似て 旅行プランを作ったり
- ロボが掃除や洗濯
- スマホやPCで 音声操作



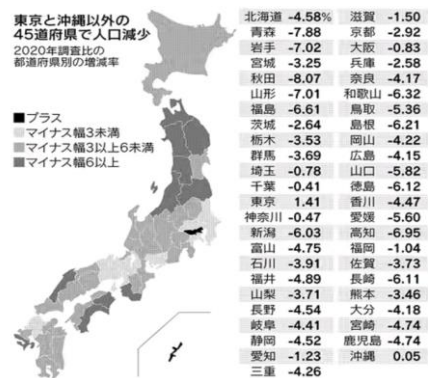
**□日本人口 1 億 2304 万人、5 年間で 309 万人減 2025 年国勢調査速報値 2026. 5. 30**

総務省は 29 日、2025 年国勢調査の人口速報値を公表した。25 年 10 月 1 日時点の外国人を含む日本の総人口は 1 億 2304 万 9524 人で、20 年の前回調査から 309 万 6575 人（2.5%）減り、減少幅も拡大した。



静岡 ▲4.9%	京都 ▲2.2
新潟 ▲3.8	相模原 ▲1.8
北九州 ▲3.7	神戸 ▲1.8
浜松 ▲3.2	熊本 ▲1.1
堺 ▲2.8	横浜 ▲0.6
広島 ▲2.4	札幌 ▲0.5
岡山 ▲2.3	

(注) 減少率の高い順、▲はマイナス



以上

**図表、写真 の出所一覧 (WEB、電子版を含む)**
**■ディスプレイデバイス (液晶・有機EL 他)・タッチセンサー・部材**

- ・ 2026. 5. 4 日刊工業新聞 ・ 2026. 5. 8 日刊工業新聞
- ・ 2026. 5. 19 PR Times

**■半導体**

- ・ 2026. 4. 30 Startup Pro ・ 2026. 5. 7 日本経済新聞
- ・ 2026. 5. 7 電子デバイス産業新聞 ・ 2026. 5. 8 日本経済新聞
- ・ 2026. 5. 12 日経TechForsight ・ 2026. 5. 29 日本経済新聞
- ・ 2026. 5. 27 XenoSpectrum

**■新技術、材料、電池**

- ・ 2026. 4. 27 東洋経済オンライン ・ 2026. 5. 1 日刊工業新聞
- ・ 2026. 5. 5 日本経済新聞 ・ 2026. 5. 7 日本経済新聞
- ・ 2026. 5. 8 Monolist ・ 2026. 5. 13 日本経済新聞
- ・ 2026. 5. 18 日刊工業新聞 ・ 2026. 5. 25 日刊工業新聞

**■カーエレクトロニクス**
**■通信 5G/6G (第5世代/第6世代通信)**
**■環境/エネルギー/SDGs**

- ・ 2026. 5. 8 エコノミストオンライン ・ 2026. 4. 29 日本経済新聞
- ・ 2026. 5. 19 日本経済新聞 ・ 2026. 5. 26 日本経済新聞
- ・ 2026. 5. 24 日本経済新聞 ・ 2026. 5. 25 日経ビジネス

**■企業動向、製品動向**

- ・ 2026. 5. 8 日本経済新聞 ・ 2026. 5. 9 朝日新聞
- ・ 2026. 5. 12 日本経済新聞 ・ 2026. 5. 14 日本経済新聞
- ・ 2025. 5. 16 日本経済新聞 ・ 2026. 5. 17 日本経済新聞
- ・ 2026. 5. 20 日本経済新聞 ・ 2026. 5. 21 日本経済新聞
- ・ 2026. 5. 23 日本経済新聞 ・ 2026. 5. 31 日本経済新聞

**■AI、生成AI**

- ・ 2026. 5. 14 日本経済新聞 ・ 2026. 5. 28 日本経済新聞

**■中東情勢の影響**

- ・ 2026. 5. 13 朝日新聞 ・ 2026. 5. 6 日本経済新聞
- ・ 2026. 5. 19 日本経済新聞

**■その他**

- ・ 2026. 5. 4 日本経済新聞 ・ 2026. 5. 18 日本経済新聞
- ・ 2026. 5. 7 NHKone ・ 2026. 5. 30 日本経済新聞